

様式 5

平成 29 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 12 月 27 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 塘 忠 顕

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ 学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	日本昆虫学会第 77 回大会
事業実施期間	平成 29 年 9 月 3 日 ~ 平成 29 年 9 月 4 日
成果の概要	平成 29 年 9 月 3 日 ~ 平成 29 年 9 月 4 日, 日本昆虫学会第 77 回大会 (愛媛県松山市の愛媛大学城北キャンパスにて 9 月 2 日から 4 日まで開催) に参加し, 研究室の大学院生, 緒勝祐太郎の共同研究者として「山形県小国町の半自然草原におけるオサムシ科甲虫群集」, 研究室の学類生, 鈴木花苗の共同研究者として「駒止湿原 (福島県南会津町・昭和村) のミズギク花に生息する <i>Haplothrips</i> 属のアザミウマ (アザミウマ目 : クダアザミウマ科) を含む日本産 <i>Haplothrips</i> 属の分子系統解析 (予報) 」とのタイトルでポスター発表, 研究室所属の学術振興会特別研究員 (PD), 真下雄太氏の共同研究者として「昆虫類の最原始系統群, イシノミ目には卵門は存在するか? 」とのタイトルで口頭発表を行った。また, 自然保護委員会シンポジウム, 一般口演, ポスター発表に参加し, 昆虫の発生, 系統, 分類, 生理に関する最新の知見を得た。さらに, 福島県における希少種の生息地保全に関する意見交換を専門家とする機会も得ることができた。愛媛大学, 福島県農業総合センター浜地域研究所, コンサル企業 (株式会社建設技術研究所) の研究者と現在進めている研究内容に関する意見交換を行った。